

## みずほCustomer Desk Report 2022/05/11号(As of 2022/05/10)

市場営業部 為替営業第二チーム

## 【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	130.00
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	130.39	1.0561	137.38	1.2329	0.6954
SYD-NY High	130.57	1.0585	138.06	1.2375	0.6986
SYD-NY Low	129.80	1.0526	137.04	1.2292	0.6911
NY 5:00 PM	130.44	1.0529	137.31	1.2317	0.6941

NY DOW	32,160.74	▲ 84.96	日本2年債	-0.0500	0.00bp
NASDAQ	11,737.67	114.42	日本10年債	0.2500	1.00bp
S&P	4,001.05	9.81	米国2年債	2.6052	0.82bp
日経平均	26,167.10	▲ 152.24	米国5年債	2.9063	▲ 3.49bp
TOPIX	1,862.38	▲ 16.01	米国10年債	2.9879	▲ 4.49bp
シカゴ日経先物	26,130.00	125.00	独10年債	1.0025	▲ 8.25bp
ロンドンFT	7,243.22	26.64	英10年債	1.8455	▲ 11.15bp
DAX	13,534.74	154.07	豪10年債	3.5320	▲ 1.70bp
ハンセン指数	19,633.69	▲ 368.27	USDJPY 1M Vol	11.25	▲ 0.65%
上海総合	3,035.84	31.70	USDJPY 3M Vol	11.15	▲ 0.48%
NY金	1,841.00	▲ 17.60	USDJPY 6M Vol	10.80	▲ 0.42%
WTI	99.76	▲ 3.33	USDJPY 1M 25RR	0.05	Yen Put Over
CRB指数	297.09	▲ 2.36	EURJPY 3M Vol	11.38	▲ 0.60%
ドルインデックス	103.92	0.27	EURJPY 6M Vol	11.35	▲ 0.43%

東京	東京時間のドル円は130.39レベルでオープン。米10年債金利が3%を割ったことや、日経平均の下落を背景に、仲値近辺にかけて一時129.80まで下落。ただ米金利が持ち直すと値を戻し、その後もじりじりと値を上げ130.55まで上昇。その後は方向感のない推移となり、結局オープンと同水準の130.36レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン時間ドル円は130.36レベルでオープン。米長期金利の低下や、ポジション調整に買い優勢となったユーロドルやポンドドルに押され、ドル円は下落。130.08レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は米金利低下を受けたドル売りに129.80まで下落するが、その後は金利が上昇に転じたことから130.55まで戻し、130.08レベルでNYオープン。朝方はウィリアムズ・NY連銀総裁の「中立水準を上回る利上げが必要かどうかは分からない」との発言が伝わり、バーキン・リッチモンド連銀総裁の「インフレ抑制は必ずしもセッションを伴わない」との発言が伝わるが、ドル円の反応は限定的となる。しかしその後マスター・グループ・ラント連銀総裁が今後2回の会合での50bpの利上げを支持し、更に「永遠に75bpの利上げを排除したわけではない」と発言したことを受け、ドル買いが持ち込まれ、130.45まで戻す。午後に入り一旦130.09まで反落する局面もあったが、ウォー理事の「初期段階に多く利上げしそれで経済がどのように反応するか見極めるべき」などの発言があったことから、その後はドルが買われる展開に、130.43まで戻し、130.44レベルでクロスした。一方、海外市場でドル売りが強まったことから1.0585まで戻したユーロドルは前日高値1.0592まで戻すことができずその後は反落し、1.0554レベルでNYオープン。朝方は一旦1.0575まで戻す局面もあったが、ナゲル独連銀総裁の7月の利上げ開始支持との発言に対する反応は限定的となる一方、株安を受けたユーロ円の売りや、マスター総裁の発言を受けたドル買いもあり1.0526まで下落する。その後は11日の米CPI発表を控えて狭いレンジでの推移が続き、1.0529レベルでクロスした。

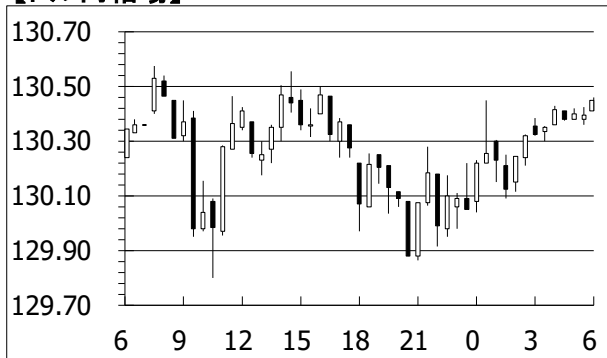
## 【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月10日	18:00	独 ZEW(景気期待/調査現状)指数	5月 -34.3/-36.5	-43.5/-35
	18:00	欧 ZEW景気期待指数	5月 -29.5	-
	20:40	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	「中立水準を上回る利上げが必要かどうかは分からない」	
	22:15	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	「インフレ抑制が必ずしも景気後退に繋がるわけではない」	
	23:00	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	「0.75%の利上げを永遠に排除したわけではない」	
	23:00	欧 ナゲル独連銀総裁 講演	「ECBの7月利上げ開始を支持」	
5月11日	02:00	米 ウォラーFRB理事 講演	「インフレは高すぎる状況にあり、低下させるのが責務」	

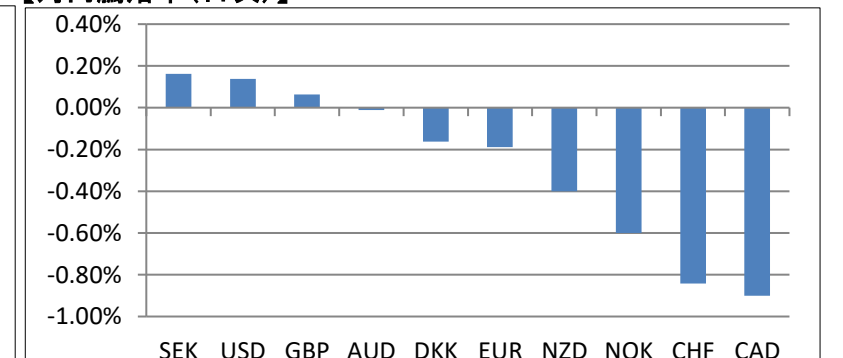
## 【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月11日	10:30	中 CPI/PPI(前年比)	4月 1.8%/7.8%	1.5%/8.3%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	4月 0.8%/7.4%	0.8%/7.4%
	17:00	欧 ラガルドECB総裁 講演	-	-
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	4月 0.2%/8.1%	1.2%/8.5%
5月12日	01:00	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-

## 【ドル円相場】



## 【対円騰落率(日次)】



## 【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	129.00-131.00	1.0450-1.0650	136.50-138.00

## 【マーケット・インプレッション】

昨日ドル/円は一時129円台まで下落したが、再び130円半ば付近まで値を戻す展開。世界的な景気後退懸念を受けて安全資産として米債が買われると、一時米10年債利回りが3%を割り込みドル/円も下落で反応するも、その後は米FRB高官による発言が0.75%の利上げを排除しないと受け止められ、130円台半ば付近まで値を戻した。本日のドル/円相場も130円台を中心としたもみ合いを予想。特に東京時間は、米4月CPIの発表を控えて動きづらいか。米4月CPIは前回からの低下が予想されており、指標結果が予想通りとなればドル/円の上値は重くなるのではないかと。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:尾身・上遠野